



県内初の公営ガソリンスタンド始動！

4月3日、かわかみサービスステーション（以下SS）の開所式が行われました。かわかみらいふ運営のもと、行政と住民が支え合い、人が集まる“ふれあいのSS”をめざします。

● 主な内容 ●

予算編成にあたり	2～5
第1回川上村議会定例会	6～7
かわかみことば特集	12～13
生活の道具づくり教室	22
人事異動	23



広報かわかみ

平成29年4月10日発行

発行 奈良県川上村
編集 川上村広報編集委員会
〒639-3594 奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の7
TEL. 0746-52-0111
ホームページアドレス <http://www.vill.kawakami.nara.jp>
メールアドレス soumu@vill.nara-kawakami.lg.jp



一、私たち川上は、自然と一体となった産業を育んで山と水を守り、都市にはない豊かな生活を築きます。

（川上宣言は全部で5つの項目になります。毎号1項目ずつ掲載していきます。）

平成29年度予算編成にあたり



所信表明を行い、一般質問に答える栗山村長

昨年度を振り返りますと、計画した事業や取り組みは、ほぼ執行でき、おおむね所期の目的を達成できたものと認識しています。年度当初は、本村を含めた吉野地域が日本遺産に認定され、ユネスコエコパークの拡張登録が定められました。私たちの地域の価値が一層評価されたものと確信しました。

また、水源地の村づくりは一段と定着していると、その手応えを感じています。10月に（公財）吉野川・紀の川源流物語が総務大臣賞を受賞しました。流域の連携を深め、紀の川じるしの展開など「つなぐこと、つたえること、つづけること」の取り組みが評価されたものと思います。

一方、住民の暮らしを支えることをめざした「かわかみらいふ」は多くの皆さまの理解と期待のもと、目的の達成に向けて順調に歩み出したものと思います。

また、はじめて実施しました村民大運動会も大勢の皆さまにご参加いただきました。村民皆さまの健康への願いと村づくりへの思いを感じつつ、勇気とともに責任の重さを痛感したものであります。

さらに、このほど「住民の暮らしと地域資源のこと」に関し、奈良県との間において包括的な連携と協力に関する協定の締結ができましたことは、大きな成果であります。引き続きしっかりとその具現化を図ってまいります。

さて国が、「地方への流れをつくる」とした、まち・ひと・しごと創生法も3年目を迎えますが、今なお続く東京への流れをどう変えるのか、正念場であるように思うものの、地方・山村にとっても厳しい現実を乗り越える知恵と工夫がさらに要求されるものと存じます。

そして国の予算は97兆4、547億円と定め、地方における最も大事な地方交付税は16兆3、29



大勢の村民が集った村民大運動会

8億円と、ほぼ前年度並みを確保されています。我々が最も関心を寄せる「地方創生事業」では昨年同様に1兆円が計上されました。そして注目の「推進交付金」も昨年度並みの1、000億円が計上されています。自治体間の厳しい争奪戦にしっかりと取り組む所存であります。こうした中、予断を許さないのは、財務省と総務省による地方財政をめぐる綱引き状態にあります。引き続き注視したいと思います。

一方、奈良県は一般会計を4、778億円とし、昨年度より3・5%減少の規模としています。そうした中、総合戦略では「住んで良し」「訪れて良し」「働いて良し」をテーマに、財政規律を守りながら、経済の活性化や暮らしの向上を重点的に進める、としています。国と同様に県の動きもしっかりと把握してまいりたいと思います。

本村は、これら国と県の予算とその施策を踏まえ、予算総額32億5、900万円を計上しました。そして、高度経済成長下においても起こらなかった自治体間の格差が生じる恐れがあることを覚悟しながら「川上村再生（2年

1. 水源地の村づくりをさらに推進すること
2. 健康な暮らしとコミュニティづくりをめざすこと
3. 住みごこちを整え、集落に“元氣”をつくること
4. 林業の6次産業化を推進すること
5. “教育村”と若者定住をめざすこと
6. 観光振興と企業・大学との連携・交流を深めること



企業と村民のふれあいの場

まず、「水源地の村づくりをさらに推進すること」については、全国の源流域に位置する市町村と連携交流している全国源流の郷協会の主な取り組みであります。「源流を守り、国土の保全を推進する議員連盟」の立ち上げを急務とし、全国の仲間の繋がりを強化しながら、連盟の設立をめざしたいと思っております。

さらには、旧白屋地区跡で展開しています未来への風景づくりについても、企業の熱心な活動が実を結びつつあり、年々、ふれあいまつりも賑わいをみせている中、村民皆さまや思いを共有する個人・グループの参画についても、積極的に導入したいと思っております。



源流体験ツアー

そして、先にも触れたように（公財）吉野川紀の川源流物語も15周年を迎え、その取り組みや活動は揺るぎのない実績となり、定着した評価となっております。さらに、水のつながりプロジェクトや流域の連携強化を図り、紀の川じろしの展開を深化させたいと考えます。

また、昨年度設立しましたごみ処理事業の広域化を図る「さくら広域環境衛生組合」事業も、関係町村の連携を密に平成33年度の開業をめざし、積極的に推進していく所存であります。



ふれあいセンターが東部の拠点に

次に「健康な暮らしとコミュニティづくりをめざすこと」については、健康で元気な暮らしがすべての人々の願いであります。

昨年度実施しました「高齢者暮らしアンケート調査」では、大勢の皆さまにご協力をいただき関心の深さが感じられます。村では、ただ今その取りまとめの作業を行っているところであり、必ずや今後の福祉施策等に反映できるものと期待しております。

また、東部地区暮らしがつづく集落づくりプロジェクトについても、前述のように「かわかみらいふ」を主体に国や県から大きな支援とともに期待も寄せていただいております、まずは順調に事業展開ができていくものと思っております。



職員を対象とした包括ケアシステムの説明会を実施

「地域に向く行政」「住民に寄り添う行政」の中心的な役割を担っており、移動スーパードキュメント活動は、多くの住民皆さまの心と力を寄せており、その自信と誇りが村への熱い思いとして表れているものと顔がほころびます。引き続き力強くサポートしたいと思います。

続いて、地域包括ケアシステムの構築であります。これからの大事な課題であります。在宅医療や介護がさらに推進される今、高齢者が住みなれた川上村で、住まい、医療、介護、生活支援、介護

予防など安心できる包括的な体制整備が急がれます。村では「川上らしさ」を求め、社会福祉協議会や関係機関と強く連携・協力し、近い将来の地域医療、介護に向き合いたいと思います。

次に、「住みごこちを整え、集落に「元氣」をつくること」については、やがて発生するであろう東南海トラフや近年の異常気象に備え、危機管理体制を強化したいと考えます。

新たに「危機管理監」を置き、危機管理（防災）に従事する職員の充実を図り、当該職員の村内居住を義務付けます。あわせて、地域（大字）での自主防災組織の強化と自主避難制度の確立をめざしたいと思います。

また、村民の日々の暮らしを支える道路や水道、浄化槽などのインフラ整備も引き続き積極的に行うとともに、住まいにかかる支援や地域（大字）の魅力、持ち味を活かす水源地の村づくり活動補助金制度なども、積極的に活用していただくことをのぞむところでありたいです。そのためにも、おたがいさん制度も、さらに上手く活用していただきたいと思います。少しでも不便な山村にあっても、少しでも

「住みごこち」「暮らしやすさ」を徹底して求めていく思いであります。



自分たちで作り上げた防災マップ

続いて、「林業の6次産業化をめざすこと」については、言うに及ばず、村の再生には森林資源や地域資源の活用は不可欠であります。「持続可能な川上産吉野材の一貫供給体制の構築と情報拠点の構築」をめざした吉野かわかみ社中も3年目を迎えます。近年、新しい需要において明るい兆しが感じられます。奈良県や市町村、木材産業界等々からの注文や問い合わせが相次ぎ、嬉しくも的確な

対応が求められています。本来の吉野材の使い方と新しい製品づくりへのチャレンジが続きます。そうした中、これらの需要や動きを積極的に取り入れることを狙いとして、木工センターを中心に二次加工の機械や設備の整備を図るとともに、増えつつある木工作家等とのコラボも模索することが大切であると認識しています。また、県が進めている「フォレストアカデミー事業」についても連携ができるよう、その対応を的確にしたいと考えています。



村産材を使用した木造住宅

一方、「次の500年」を見据えた山づくりについても、少しず

つ取り組む姿勢がうかがえ、森林保全や自然循環の見地からも、大きな評価があつていいものと考えます。また、没後100年を記念して実施された昨年の土倉翁の功績をたたえる事業についても、その後関係する機関や団体から「これを機に何らかの交流や連携を図ろう」というありがたいご意見をいただいております。

あらためて、業界の一層のご努力に期待するところであります。



土倉庄三郎翁没後100年記念事業

次に、「教育村」と若者定住をめざすことについては、まずは保小中学校舎一元化事業に精一杯取り組み覚悟であります。再三申し上げますように、本村の教育の歴史

史はまさに「教育村」に恥じない取り組みであり、その成果も着実に実を結んでいます。それは「村づくりは人づくり、人づくりは教育」の精神のもと、地域と学校と家庭がたゆまず努力を続け、ゆるぎない連携を図ってきた結果であります。

私は、この事実と歴史を損なうことなく次世代につなげる大きな責務があると考えています。そのためにも、「校舎の一元化」は不可欠との決意を固めております。今の社会情勢や子どもたちを取りまく環境を見ても、いまや保育と小学教育、中学教育を分けて行う意義は少なく、むしろ幼児から15歳までを連携した教育が求められていると確信しています。

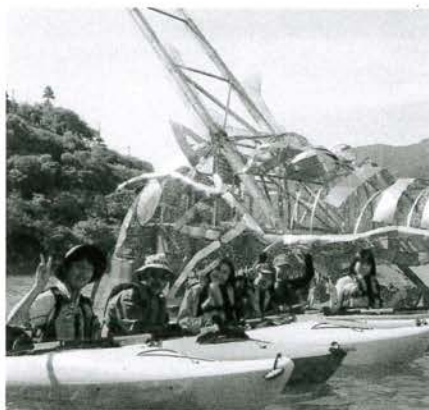
今後、早急に保護者や住民の皆さまに対し、この事業の必要性を正確かつ丁寧に説明し、ご意見をいただきながら議論を重ね、さらに前進していく決意であります。

一方、若者定住については、子育て支援の環境整備と深く連動するものと考えます。

川上村が川上村でありつづけるためにも、再三申し上げますように「新しい出会い」「新しいつながり」が不可欠であります。これ

らの「ご縁」を大切にしながら、この結びつきを築きあげていくことが大事であります。そのためにも、新しく移住された方々やかわかもんたちとの連携を深め「外から見た 川上村の良さや魅力」を磨いていくことが肝要と考えます。

最後に、「観光振興と企業・大学との連携・交流を深めること」については、各地の定住の取り組みで結果がでていくように、交流人口の増加をめざすことは村の活性化につながり、ひいては定住へのキッカケづくりになると考え、今年度も積極的に展開したいと考えます。



ダム湖を利用したカヌーツアー

そのためにも、森林や源流、ダム湖や河川、滝などを上手く活用した「源流ツーリズムとオール観

光交流事業」をおおいに展開したいと思えます。そうした中で、新たな村の魅力が掘りおこされたり、見落としている資源も見つかるものと思えます。あわせて、集客力が見込まれるダムサイト周辺の整備やダム湖の利活用は必須であります。

一方、今年度も企業や大学との連携を積極的に展開したいと思えます。「ふれあいまつり」に協賛いただく企業や資源活用、あるいは観光力のノウハウなどで、絶えず連携している南都銀行、また大学では初めて大阪・梅田にキャンパスを開校した大阪工業大学等の活力や知恵は図り知れないものがあり、引き続きしっかりと連携・交流を図ってまいりたいと思えます。

いぜん、東京一局集中の流れは衰えを知らず山村・過疎地を取りまく環境は厳しいままであります。それでも私たちの地域の価値は確実に評価されつつあることは事実であり、また肝心の村民の皆さまの思いは「前向き」、と心強さと頼もしさを感じています。

これらを真摯に受けとめ、今年度も誠心誠意取り組み覚悟であります。

平成29年 第1回川上村議会定例会

平成29年第1回川上村議会定例会が3月7日から14日までの8日間
にわたり開会されました。

初日の7日には、全議案について説明と質疑が行われ、これらの議
案は各委員会に審議を付託されました。

また、塩谷章次議員、泉谷隆夫議員から一般質問が行われました。
最終日の14日には各委員会から報告が行われ、いずれも可決されま
した。

条例の制定・改正など

◎**村農業委員会の委員定数に関する条例の制定について**

農業委員の定数を8名から1名減らし、7名にしたことが主な内容です。

◎**区画整理による地番変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について**

宮の平地区の区画整理により公共施設の住所地番を変更する為の改正です。

◎**村課設置条例の一部改正について**

地域振興課の業務を分担し、新しく林業建設課を設置するための改正です。

◎**職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について**

介護休暇の分割取得や勤務時間の制限及び短縮を可能とすることが主な内容です。

◎**村職員の育児休業等に関する条例の一部改正について**

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、育児休業の対象範囲を拡大したことが主な内容です。

◎**職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について**

災害や緊急時に迅速に対応するため、村長が任命する職員及び村内に居住する職員に対し、特殊勤務手当を支給するものです。

◎**村税条例の一部改正について**

地方税法の改正に伴い、税率の引き下げや新たな徴収制度導入時期の見直しなどを行なうものです。

◎**かわかみサービスステーションの設置に関する条例の制定について**

井上石油店が廃業することを受け、新たにかわかみサービスステーションを設置し、エネルギーの供給体制の整備を行うものです。

◎**指定管理者の指定について**

木工の里の管理者を吉野かわかみ社中に、かわかみサービスステーションの管理者をかわかみら
いふに指定したものです。

◎**村木工の里設置条例の全部改正について**

木工の里を指定管理するために必要な事柄を改正したものです。

◎**村営住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について**

区画整理の地番変更に伴う、村営住宅の番地の変更と新たに建て
る住宅の地番を追加するもので
す。

◎**村林業資料館の設置及び管理に関する条例の廃止について**

当該条例を廃止するものです。

◎**平成28年度一般会計予算補正について**

既定の歳入歳出予算に2億1、973万8千円を減額し、予算総額は27億8、799万6千円となりました。これは林道整備事業や吉野かわかみ社中事業、グリーンパークかわかみ管理施設整備事業等の減額が主な内容です。

◎**特別会計予算補正について**

◆**村営林野事業特別会計予算補正**
既定の歳入歳出予算に13万9千円を減額し、予算総額は1、186万1千円となりました。これは管理作業委託料の減額が主な内容です。

◆**村国民健康保険事業特別会計予算補正**

《事業勘定》

既定の歳入歳出予算に576万7千円を減額し、予算総額は2億9、337万3千円となりました。これは介護給付費納付金の減額が主な内容です。

《直診診療施設勘定》

既定の歳入歳出予算に244万6千円を増額し、予算総額は1億1、926万円となりました。これは医療用衛生材料費の増額が主な内容です。

◆村簡易水道事業特別会計予算補正

既定の歳入歳出予算に95万6千円を減額し、予算総額は1億2、054万4千円となりました。これは用地測量委託料の減額が主な内容です。

◆村介護保険事業特別会計予算補正

既定の歳入歳出予算に10万8千円を増額し、予算総額は2億6、074万5千円となりました。これは基金への積み立てが主な内容です。

平成29年度 当初予算

◎一般会計予算について

歳入歳出予算総額は32億5千900万円となり、前年度比約13・2%の増額となっています。

増額の理由として公共施設等の整備・解体事業等があります。

新規や拡充された主な事業は次のとおりです。

《主要事業》

◇吉野かわかみ社中事業

1億5、770万円

◇大滝ダム周辺施設整備事業

1億227万4千円

◇村道新設改良事業

9、267万1千円

◇地域おこし協力隊事業

5、860万5千円

◇美しい森林づくり基盤整備事業

5、016万5千円

◇情報システム管理事業

3、974万2千円

◇（一社）かわかみらいふ運営管理事業

2、840万1千円

◇（仮）かわかみSS運営管理事業

1、150万円

◇源流ツーリズム推進協議会事業

850万8千円

◎特別会計予算について

◆村営林野事業特別会計予算

歳入歳出予算額は830万円となりました。

◆国民健康保険事業特別会計予算

《事業勘定》

歳入歳出予算額は3億50万円となりました。

《直営診療施設勘定》

歳入歳出予算額は1億1、073万円となりました。

◆簡易水道事業特別会計予算

歳入歳出予算額は2億3、810万円となりました。

◆水没者生活再建対策事業特別会計予算

歳入歳出予算額は2、496万円となりました。

◆村立歯科診療所特別会計予算

歳入歳出予算額は800万円となりました。

◆介護保険事業特別会計予算

《保険事業勘定》

歳入歳出予算額は2億6、930万円となりました。

《介護サービス事業勘定》

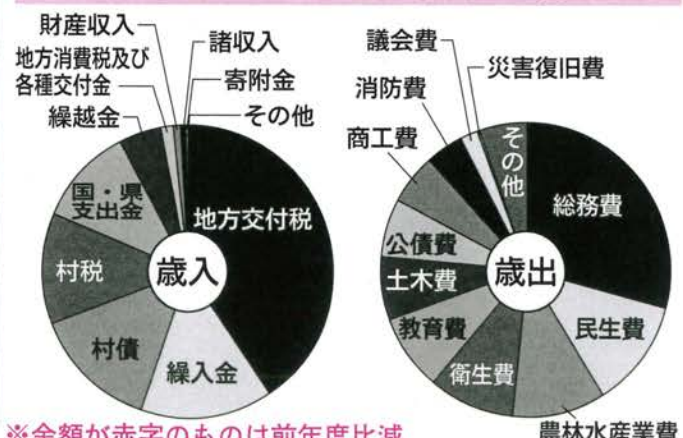
歳入歳出予算額は253万円となりました。

◆後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算額は3、544万円となりました。

歳入	歳出
地方交付税 13億2,000万円	総務費 9億5,806万8千円
繰入金 4億7,780万円	民生費 3億8,242万6千円
村債 4億5,060万円	農林水産業費 3億4,485万8千円
村税 3億9,088万9千円	衛生費 3億946万7千円
国・県支出金 3億5,940万3千円	教育費 2億6,939万7千円
繰越金 1億4,637万8千円	土木費 2億3,289万円
地方消費税及び各種交付金 5,173万5千円	公債費 2億851万4千円
財産収入 2,490万4千円	商工費 1億7,972万9千円
諸収入 2,062万2千円	消防費 1億3,684万9千円
寄附金 3万円	議会費 5,925万3千円
その他 1,663万9千円	災害復旧費 956万1千円
	その他 1億6,798万8千円

予算総額 32億5千9百万円



かわかもんがゆく。

— 地域おこし協力隊活動記 —



4月から新しく地域おこし協力隊として2名が村内で活動を始めます。「かわかもん」は地域おこし協力隊と地域支援員を合わせ全員で10名となります。これからも地域の課題解決にみんなで協力しながら取り組んでいきます。



いわもと ひろき
岩本 寛生
(白川渡)

協力隊3年目の岩本寛生です。今年度から神保さんの後を継ぎ

「やまいき市」を運営してきます。昨年度は吉野川紀の川流域連携事業に力を入れてきました。この事業の一つの成果が3月に開催された「紀の川じるしの見本市」に表れていたと思います。生産者が集う中で上・中・下流域の商品をやり取りする関係。その関係を今後大切にしていきます。

そして自らの進路とともに「やまいき市」のあるべき姿をじっくりと考える1年になります。「山をいかす、山といきる」というテーマを繋ぎ、今年度も一歩ずつ確実に歩んでいきます。



やすだ よしひろ
安田 芳裕
(西河)

本年度より協力隊3年目を迎える安田芳裕です。

早いもので私が川上村に来て1年半が経ちました。村に来てすぐは不安でいっぱいでしたが、村の皆さんが親身になってご協力くださったおかげで、とても充実した協力活動を続けられています。

協力隊卒業後の生活に向けて、生業の1つにするための「ヨイヨイかわかみ」の活動も、おかげさまで事業の拡大を続けることができ、定住への自信を強めることができています。

本年度も活動へのご理解と応援をどうかよろしく願います。



よこほり ひろと
横堀 寛人
(粉尾)

こんにちは、横堀寛人です。協力隊の任期も残り1年となりました。粉尾で暮らして、早くも2年。いろんなことがありました。なかでも息子の誕生は、今までの私と妻の人生をガラリと変える出来事でした。

どうしても、子ども中心の生活リズムになってしまいう中で、思い悩むことも多いのですが、少し見方を変えて、今だからこそできる子育ても、仕事のあり方も、もっと楽しんでいけたらと思います。

親になってみてようやく、親のありがたみが身をもって分かってきた今日この頃です。

これからも、川上村だからこそできる暮らし方を模索します。



ひらい けんた
平井 健太
(大滝)

協力隊2年目、木工職人の平井です。川上村に来てあつという間の1年でした。

1年目は住居の改修や工房の整備、吉野杉を使った新しい家具の

試作など、「準備」の年だったので、今年度からは、任期終了後の自活を見据え、自身の活動をより具体的、本格的に進めて行きたいと思っています。

また、その活動を通して、吉野杉や吉野檜の広報にも繋がれば良いなと考えています。まだまだ足りない点があるかと思いますが、温かく見守っていただければ幸いです。



マタレーゼ エリック
エリック ジェームス
(上多古)

上多古の東屋で座っていると、川上村の美しさを感じられます。美登里橋をくぐる清流に耳をすまし、山に向かって深呼吸をします。坂の上の大年神社は上多古を静かに見守ります。そして、東屋の近くに植えられた桜の木がこれから咲きます。

私は川上村について語る時、このように語ります。これからの1年間、皆さまと川上村について語る機会が増えると幸いです。

今年度、挑戦したいことがいくつかありますが、もちろん一人ではできません。よろしければ、一緒に新たな交流を作りましょう。今年度もよろしく願っています。

新しく地域おこし協力隊となる2名を紹介します。



朝日 陽子
(井戸)

4月から地域おこし協力隊として愛知から移住した朝日陽子と申します。

私は美術大学で油絵を勉強したのち、衣料品店で働き、登山用品を扱う専門店に転職。そのタイミングで山登りを始め、春と秋はクライミング(岩登り)、夏は沢登り、冬は雪山に行ったり、凍った滝を登るアイスクライミングと、年中山で遊んでいます。だから日焼けしていつも真っ黒です。去年の夏は、2回佐渡島へ渡り、心強い友人たちのおかげで幻の大滝にたどり着き、登ったりもしました。実は、川上村にも以前から協力隊のメンバーと毎月のように山や沢を歩き回っていました。「川上村は面白いなあ」と思っていました。が、まさか住むことになるのは！自分が一番驚いています。山にどっぷりのここ数年は、山に登るだけでなく、アウトドアに携わる面白い方との出会いもたくさんありました。大峯台高に囲ま

れた環境を今まで培った人のつながりを生かしつつ、伝えられる仕事ができたらと考えています。どうぞよろしく願っています。



渡邊 崇
(東川)

はじめまして。4月より地域おこし協力隊として活動させていただきます。渡邊崇と申します。妻と子どもの3人で東川に移住させていただけます。どうぞ、よろしく願います。

出身は大阪府ですが、飛騨高山で木工に関する勉強をしていました。そこで培った経験と技術を活かして、地域や産業が活性化するように力を尽くしていきたいと思っています。

まず、現在までの村の文化、産業、歴史背景を知りたいと思います。

その上で、現在の状況、今後の可能性、問題点を再確認して、川上村の豊富な資源である森林をもっと活かせるように、活動していきたいと思っています。

どうぞ、よろしく願います。

地域支援員(地域おこし支援員・定住支援員)を紹介します



鳥居 由佳
(寺尾)

川上村に暮らして、もうすぐ5年目に突入します。

私の軸は、協力隊になった当初より変わらず、林業や水の源のことについて、より多くの人に知ってもらいたいという強い気持ちがあり、そのために川上村を拠点にさまざまな場所や人への広報活動を続けています。

この春より住まいも変わり、変化の年となりますが、皆さんと関わる時間を大切に過ごしていきたいと思えます。どうぞよろしく願っています。



横堀 美穂
(粉尾)

こんにちは。そろそろ、山業の事が気になる季節ですね。

今期も定住支援員として、村に住む人、特に子どもたちに、村のことを知ってもらう取り組み「むらしるべ」の活動をしていきます。それ以外にも「自分がしたい事

とするべき事のバランスを取りながら活動できたらなあ」と思っています。

子育て、宿の事、日々の生活など、なかなかペースが整いませんが、なんとかえっちらおっちら進んでいきたいです。

今年度も叱咤激励、よろしく願っています。



早稲田 緑
(高原)

協力隊・地域支援員の活動期間を通じて行ってきた山の文化発信プロジェクトは、昨年も、大阪・奈良での展示会や教育ツアーの企画運営を行わせていただきました。これもひとえに、これまで代々暮らし植林を行ってきた先人たち、その文化を受け継いできた皆さんのおかげです。

今年も、展示会でのPRや、林業を活用した教育ツアーを引き続き行い、川上村の山の文化が人々に息づいて継承されていくことを目標に頑張ります。よろしく願っています。



かわかみらいふ通信 第9号

ガソリンスタンドはじめました



装い新たにガソリンスタンドがオープンしました。
これからガソリンスタンドを利用したいなと思っている方、私たちに何でも聞いてください！

事業所の皆さま
灯油、軽油や重油も配達します！
請求書での支払いも可能ですので、事業所の皆さんもぜひごひいきにしてください。

価格面でも頑張ります！
“お得で” “便利な” 会員カードを導入して、「かわかみSSで給油しよう！」と思ってもらえる価格設定で頑張ります。

村民による村民が利用しやすいガソリンスタンド“かわかみSS”をどうぞよろしく願います。

【問い合わせ先】
かわかみSS

TEL 52・0715

【写真右から】
上平 重治
井上 イトエ
井上 英昭
井上 重光
岩田 孝行
亀井 孝行
(店長)

新しいスタッフの紹介



みやけ まさき
三宅 正記

以前はバナナ販売の会社で働いていました。家族で北和田に移住したので、よろしく願います。



もと本 めぐみ

役場住民福祉課の保健師です。これからふれあいセンターに常駐して皆さんの健康をサポートします。



すぎた こうへい
杉田 好平

役場定住促進課の職員です。移動スパー同乗やコープ宅配も行って、早く皆さんに覚えてもらえるよう頑張ります。



ふれあいセンターでは、卓球や体操の自主サークル活動が行われています。

区会等の資料作りや免許証のコピーには、用紙代込みで1枚5円の住民用コピー機が便利です。また、今回新たに図書館の本の貸し出しも始めました。

皆さんにどんどん利用してもらえると嬉しいです。
おいしいコーヒーをご用意していますので、ぜひお越しください！
【問い合わせ先】
かわかみらいふ

TEL 54・0521

村づくり塾 活動中です!

今後の村づくりについて、学び・考える「村づくり塾」が活動しています!

活動内容は村内見学や講師を招いての講演会、ワークショップや会議などです。

次回は、下記の通り会議を行います。どなたでもご参加いただけますので、お気軽にお問い合わせください。ご参加をお待ちしております。

と き 平成29年 4月25日(火) 19:00~

と ころ 役場第2会議室

内 容 特産品の開発の検討など

【問い合わせ先】

定住促進課 TEL 52-0111



「頑張ります! 栗山です!」

「弱い絆」の効用という言葉を はじめて耳にしました。これは、 全国町村会が発行する「町村週 報」に掲載されていた東京大学名 誉教授の大森彌氏の記述でありま す。同氏のメッセージには、たび たび感動と勇気をいただいております。今回の主張は、米国の社会 学の教授が学会で発表した情報の 伝播に関する研究の中で、家族や 親友、職場の仲間といった社会的 に強いつながりを持つ人びとより も、友達の友達やちょっとした知 り合いなど、社会的につながりの 弱い人びとのほうが、自分にとっ

て新しく価値の高い情報をもたら してくる可能性が高いという説 です。また、強い絆をもつグルー プは関係が緊密であるがゆえに外 部と遮断されがちで、新しい情報 が入りにくく、むしろ弱いつなが りが新しいアイデアや重要な情報 をもたらしてくれるとされています。 つづけて同氏は、弱い絆で結ば れている外部の人材が地域活性化 についてヒントの源泉になることは 稀ではない。さらに、絆は強弱とも あったほうがいいとしています。 確かに、なるほど!と考えさせら れます。皆さんは、どう思われますか。 新年度がはじまりました。この 考えをおおいに生かしてみたいと 思います。

清流

「店、閉めるんやなあ:」

「ここ無くなったら困るわ!」

「姉ちゃんの顔、見られへんよう になるんやなあ!」

「よう頑張ったなあ!」

「お疲れさん」

「寂しなるなあ」

「閉めるまで、お花飾ってね!」

「今日で給油してもらおうのさいご やなあ!」

「等々、閉店の話を聞き 給油にこられた方から沢山の心温

まる嬉しいお言葉を頂いて、胸が

一杯になる日々でした。

思い返せば、義母が手廻し式の

タンクで給油していた時から関

わってききましたが、辛い時や情け

ない思いをした時も多々ありました。

そんな時は、お客さんが来店

してくださることの有難さと楽し

いおしゃべりで元気を頂き、今日ま

で大事もなく営業を続けること

ができました。これもひとえに皆

さんのお蔭だと感謝しております。

川上村で初めて営業したスタン

ドでもあり、最後まで残ったスタ

ンドでしたが、体力の衰えもあ

り、整理が出来るうちにしま

おうと思いい廃業を決心しました。

昨年の七月に廃業の挨拶で村長を訪ねました処、村唯一のスタンドの灯を消す事は出来ないので事業を継承したいとの申し出があり、各方面のご協力のもと、4月からはかわかみSSとして営業することにになりました。

私たちにとっては、思いも寄らない(予想外の)展開となりましたが、一個人の店を重要視して頂いたことは非常に嬉しく、継承していただくことで村や村民の皆さまのお役に少しでもたてる事が出来れば、この上ない喜びと思っております。

長年に渡りましてのご愛顧とご支援を賜りましたこと、有り難く、心よりお礼申し上げますと共に今後は、かわかみSSのご利用をお願い申し上げます。



長い間お疲れさまでした

かわがみことば特集

各地区の方言を紹介するにゃ～

北塩谷編

山 言 葉

- ちょうば } 仕事終わりに食べる食事
- けんずい }
- おしまい 夕方にする挨拶
- おちがい めんつを入れる筒状の袋
- たくる 木の皮を剥ぐこと
- すえっぽ 木の一番先
- もとだま 木の根元
- ゆうに 夕方に持ち帰る木
- どちわびき 木にどちかんを打ち込み
綱を引っ張る
- まるもち 樽丸の材料を運ぶこと
- しまおか 仕事を終える合図
- じりかわ 尻に下げる動物毛皮

最近テレビで全国各地の方言が取り上げられ、ドラマなどでも昔なつかしい言葉が語られています。もちろん私達の村でも、昔の言葉で話されている方がいます。広報編集委員会では、温もりのある方言を大事にし、先人から伝えられた文化を後世に残すため、各大字を訪問し、取材をさせていただきました。

隣近所の貴重な語り文化としていつまでも残される事を願います。今後各大字を取材させていただきます。

(尚、昔から伝わる方言の性質上、そのまま掲載致しました)

方言クイズ

何のことかわかるかな？

- よううつわ
- おんづもり

※答えは特集の中にあります

家庭と生活

○ おとうちゃん	父
○ おかちゃん	母
○ じい	祖父
○ ばば	祖母
○ あんにゃん	兄(身内)
○ ねえやん	姉(身内)
○ くべる	焚き火を穴のなかに入れ ること
○ おます	お供えをする
○ たばる	お供えをさげること
○ ごぜんさん	仏壇
○ おっぱん	仏前に供える御飯
○ かわらぎ	流水
○ ぼくと	木の棒
○ てひょ	小皿
○ ながたん	菜切り包丁
○ しゃこ	杓



語り部さん (敬称略)

上 田 雄 一
上 田 明 子
大 西 嘉那子
大 西 一 男

日常会話

○ じげのひと	その土地で長い間住んで いた人
○ おいやん	おじさん
○ おばやん	おばさん
○ あんじょう	上手に
○ ほてから	} そして、それから
ほんでに	
ほんだら	
ほて	
○ ~じいもって	~じいながら
○ (家を) もだく	(家を) 改築する
○ まるごと	全部
○ げす	下品
○ いのら	帰りまじょう
○ おまえら	みんな
○ そうけ	そうですね
○ まわり	準備
○ いころ	行きまじょうか
○ まうらつるわ	良く似合う
○ まばれる	御馳走になる
○ どんくさい	不器用
○ ほっとく	関わらない
○ おんづもり	とどのつまり
○ そやがい	そうですね

遊 び

○ おいっこ
○ はじりやい
○ しんげき

教育かわがみ

第51回 教育長通信

☆卒業式と進路

3月15日 川上中学校第35回、3月21日 川上小学校第14回の卒業式が栗山村長、春増村議会議長等の来賓の御臨席をいただき、厳粛かつ和やかな雰囲気の中で挙行されました。今年も、中学校、小学校共に7名の卒業生が学び舎を巣立ちました。

中学卒業生の7名は今年もそれぞれが希望した進路先へ進むことができ、喜びに沸きました。

これは「川上村義務教育プラン」に則って小中の先生たちが推進している「15歳の春の進路保障」のための教育が大いに効果を上げていく結果です。



☆小・中の教職員の人事異動

今春の教職員人事異動は川上小学校、川上中学校共に大幅な異動になりました。(詳細は23頁参照)

小学校は管理職登用と退職、併せて県採用が2名出たこと、中学校は退職4名と家庭事情による異動が主なものです。

後任に管理職3名と事務職員1名、一般教員には新採用者5名(小3・中2)と経験者3名(小1・中2)を迎えました。両校共に若い先生と経験者のバランスを考えて配置しました。着任の先生を迎える子どもたちの喜ぶ顔が浮かんで来ます。

中学校は校長、教頭共に異動しますが、新たに初任時から中学校のことを熟知している前浩輔先生を校長に、一昨年まで在職していた山口幸夫先生を教頭に迎えたので心配はありません。

今回川上村を去られる教職員には川上村の教育推進に大いに力を発揮していただいたことに深く感謝申し上げます。

着任された方々は一日も早く学校や川上村に馴染み、子どもたちの教育に全力を注いでいただくとを願っています。

☆教育委員会事務局人事

〈初めて指導主事を採用〉

今回、初めて教育委員会に指導主事を配置しました。教育長の命を受けて行う「教職員への指導と研修」や「学校で生じる問題の解決」が主な役割です。

先生たちも子どもたちと同様、日々しっかりと勉強を重ね実力を養うことが大切です。先生たちが子どもたちによくわかる授業や指導を提供できる力量を備える手助けをします。また、校長・教頭先生と連携し、学校で生じる諸問題の解決にあたります。

併せて、保小中学校舎一元化後に行う教育構築のため、「教育内容の整備、保小中の連絡調整や業務調整」を行います。

この度、県教育委員会から稲葉樹逸先生(前平城西小学校校長)を御推薦いただきました。先生は中学校英語教員として28年、中学校教頭3年、小学校勤務は校長3年を含んで5年の経歴を持っています。



◇4月・5月の学校の動き

9 (火)	5 (金)	4 (木)	3 (水)	2 (火)	1 (月)	29 (土)	28 (金)	27 (木)	26 (水)	25 (火)	24 (月)	20 (木)	18 (火)	17 (月)	14 (金)	13 (木)	12 (水)	11 (火)	10 (月)	7 (金)	6 (木)	5 (水)	4 (火)		
歯科検診	心電図検査	(祝) 子どもの日	(祝) みどりの日	(祝) 憲法記念日	PTA総会	新入生歓迎集会	(祝) 創立記念日	(祝) 昭和の日	修学旅行④	修学旅行③	修学旅行②	修学旅行①	ハロー英語	PTA総会	ハロー英語	児童見守隊立哨	家庭訪問②	家庭訪問①	給食開始・身体測定	生徒会説明会	第15回入学式	第36回入学式	平成29年度始業式・着任式	職員会議	職員会議

平成29年度 川上小学校・川上中学校スクールバス運行予定表

平成29年4月6日

小・中学校の休校などで運休することがあります。あらかじめ、ご了承ください。 川上村教育委員会

		(中奥・上多古方面)					
バス停留所	時刻		運行日	平 日		水曜日	
			運行方面	中奥方面	中奥方面 上多古方面	中奥方面	
			始 発	小 学 校	中 学 校	小 学 校	
		バス停留所	16:10	17:50		14:45	
登 校 時	中奥公民館	7:23	小 学 校	16:10	-	14:45	
	中 奥	:25	人 知	:22	-	:57	
	粉 尾	:28	中 学 校	16:23	17:50	14:58	
	瀬戸団地	:32	下 井 戸	:27	54	15:02	
	白川渡(粉尾側)	:33	中 井 戸	:28	55	:03	
	ふれあいセンター	:35	白川渡(粉尾側)	:36	18:03	:11	
	北 和 田	:36	ふれあいセンター	:38	-	:05	
	北 和 田 口	:37	北 和 田	:39	-	:06	
	上 多 古	:39	北 和 田 口	:40	-	:07	
	中 井 戸	:47	上 多 古	:42	-	18:09	
	下 井 戸	:48	瀬 戸 団 地	:43	:04	-	
	中 学 校	7:52	粉 尾	:47	:08	-	
	人 知	:53	中 奥	:50	:11	-	
	小 学 校	8:05	中奥公民館	16:52	18:13	-	
(高 原 方 面)							
バス停留所	時刻		運行日	平 日		水曜日	
			運行方面	高原方面		高原方面	
			始 発	小 学 校		小 学 校	
		バス停留所	16:10			14:45	
登 校 時	高原ロータリー	7:45	小 学 校	16:10		14:45	
	福源寺登り口	:46	大 滝	:15		:50	
	宮 の 平	:52	寺 尾	:20		:55	
	役 場 前	:53	役 場 前	:22		:57	
	寺 尾	:55	宮 の 平	:23		:58	
	大 滝	8:00	福源寺登り口	:29		15:04	
	小 学 校	8:05	高原ロータリー	16:30		15:05	
	(東 川 方 面)						
バス停留所	時刻		運行日	平 日		水曜日	
			運行方面	東川方面	東川方面	東川方面	
			始 発	中 学 校	中 学 校	中 学 校	
		バス停留所	16:10	17:50		14:45	
登 校 時	深山	7:34	中 学 校	16:10	17:50	14:45	
	柳 瀬	:35	宮 の 平	:13	:53	:48	
	高 佐	:36	川上村役場	:14	:54	:49	
	東川公民館前	:37	シーズン前(寺尾)	:15	:55	:50	
	中 井 口	:38	寺 尾	:16	:56	:51	
	衣 引	:39	大 津 古	:17	:57	:52	
	木工の里	:41	大 滝	:20	:00	:55	
	波 津	:44	西 河 口	:21	18:01	:56	
	小 学 校	7:49	小 学 校	:23	:03	:58	
	西 河 口	:50	波 津	16:28	18:	15:03	
	大 滝	:51	木 工 の 里	:33	:13	15:08	
	大 津 古	:53	衣 引	:36	:16	:11	
	寺 尾	:54	中 井 口	:37	:17	:12	
	シーズン前(寺尾)	:55	東川公民館前	:38	:18	:13	
	川上村役場	:56	高 佐	:40	:20	:15	
	宮 の 平	:57	柳 瀬	:41	:21	:16	
中 学 校	8:00	深 山	16:42	18:22	15:17		

【問い合わせ先】 教育委員会事務局 TEL 52-0111

今、学校で

川上中学校

3月15日に卒業証書授与式を行い7名の生徒が川上中学校を巣立ちました。川上中学校で学んだことに自信と誇りを持って大きく羽ばたいてくれることを願っています。

卒業式の前に部活動のお別れ会を行いました。また、13日には、全校生徒と教職員で作上げる最後の行事「予餞会」が行われました。1・2年生は、3年生に感謝の気持ちを込めて一生懸命に企画・運営し、3年生もその思いに応え、心温まる和やかな予餞会になりました。



〈中学校卒業証書授与〉



〈職員の思いを掲示物に〉

第35回卒業証書授与式



いついかなる時にも幸せであれ!!



〈在校生の送辞〉



〈卒業生の答辞〉

☆全員が希望する学校に進学しました。これまでご支援くださいました皆様に感謝申し上げます。

部活動お別れ会と予餞会

部活動お別れ会



〈卓球部〉



〈陸上部〉

後輩から先輩に感謝の気持ちを込めて

■ 2年生…箱の中身は何じゃろな？

恋ダンス (映像で)



■ 執行部…この人は誰でしょう？



目を凝らして見ないと…

■ 1年生…イヤホンガングーム (伝言ゲーム)



笑いすぎて司会が…



久しぶりに大笑いしました!

市町村対抗

子ども駅伝大会

県内39市町村から36チーム（2チームは合同）が参加した第12回市町村対抗子ども駅伝が3月4日、馬見丘陵公園で開かれ川上小学校の児童は駅伝とタイムトライアルに参加しました。

8人で1チームを構成する駅伝では、大会前の練習の成果を発揮し、昨年より総合タイムを8分近く縮めることに成功しました。

また、個人で出場するタイムトライアルには4名の児童が出場しました。



最後まで諦めずにしっかりと走りました

公務員の資質について

市町村職員研修を実施

今後の地域づくりを担う公務員に求められる資質についての講演会を総務省行政管理局企画調整課 箕浦龍一課長を講師に迎え、3月13日、役場第1会議室で実施しました。

講演の中で、箕浦課長は人脈・ネットワークを伴うことで自身の人間力を高めることの重要性を説明。「さまざまな経験や色んな人と交流することで人間力を高めていくことが必要である」と述べられました。



職員に対して講演を行う箕浦課長

こんにちは 保健師です



「五月病」を予防しましょう

新緑が芽生え、暖かく過ごしやすい春になってきましたね。3月から4月にかけては卒業や入学、就職などで忙しく過ぎる季節ですね。新しい環境での生活は、自分で

思っているよりもずっと心身に負担がかかります。このストレスが原因で、5月に様々な不調が現れることを「五月病」といいます。最近では6月に症状が現れることもありますが、いずれにせよ、正式な病名は「適応障害」に当たります。

【主な症状】

- ・ すぐ疲れる、だるさが続く
- ・ 食欲が低下する
- ・ 寝つきが悪い、よく眠れない
- ・ 物事に興味がわかない
- ・ 不安や怒り、焦りなどを感じる
- ・ 気持ちや張り詰めている
- ・ 判断力や集中力が低下する

*多くの場合は自然に回復しますが、症状が長期継続と「うつ病」に移行することもあります。長期間気分が優れない、症状が重い場合は専門医に相談しましょう。

【ストレスをためないために】

1. 生活リズムを整える
「起きる時間」「寝る時間」「食事の時間」はなるべく同じ時間になるように心がけましょう。ただし、無理はせず自分に合ったリズムを刻みましょう。
2. バランスの良い食事をとる
旬の物は栄養も豊かで、食べる楽しみも大きく膨らみます。
3. 休養をとる
休日にはのんびりした時間も必要です。プライベートも忙しくしすぎないように気をつけましょう。

「忙しくて時間がない」という時こそ、意識してつくる時間を健康的に送るため、五月晴れの青空のもと、深呼吸してみてくださいか。



～樹と水と人の共生・川上村の情報～

かわがみ満足ガイド

森と水の源流館

■水源地の森ツアー

和歌山で海へとつながる全長136kmの吉野川紀の川。川上村に連なる山々がその源です。

今、この瞬間も私たちにかけがえのない水を届けてくれる源流の森とはどんなところでしょうか。

森の入り口にそっとおじゃまし、その魅力にふれるガイドツアーです。

と き 平成29年4月23日(日)

9:30～16:30

と ころ 吉野川源流一水源地の森
(森と水の源流館集合・解散)

定 員 20名 小学生以上

参加費 一般 4,000円

小中高生 2,600円

※ただしバス代は主催者が負担いたします

※参加費の一部は“環境協力金”として森守募金にあてられます。

※「吉野川紀の川源流一水源地の森」は、一般の方の入山はお断りしています。

■森と水の源流館開館15周年

ピアニスト山川亜紀さんと写真家辻本勝彦さんの共演「風景と音楽で語る源流の村」など、新しい源流の森シアターの可能性をお披露目します。

と き 平成29年4月29日(土・祝)

10:00～15:00

と ころ 森と水の源流館

入場料 無料

■源流学の森づくり(ボランティア)

20年ほど前に伐採され、再生しつつある天然林を立派な源流の森に戻すべく試行錯誤しています。

山小屋を拠点に除伐したり、作業歩道を補修したり、土留めや獣害防止について考えたり、森を整備します。

と き 平成29年5月3日(水・祝)

9:00～17:00

と ころ 源流学の森
(森と水の源流館集合・解散)

定 員 10名 小学5年生以上

参加費 無料

■吉野川紀の川しらべ隊

吉野山のコケをしらべよう

吉野川中流域にあたる吉野山の身近なコケをしらべます。

と き 平成29年5月7日(日) 13:30～16:30

と ころ 吉野町 吉野山(近鉄吉野駅前集合・解散)

定 員 20名 小学生以上

参加費 500円 川上小中学校在校生無料

《森と水の源流館 TEL 0746-52-0888》

匠の聚



川上村シルバー人材センターのみなさんが、丁寧に育ててくれた芝桜が見ごろを迎えます。また、アートフェスティバルや文化教室などの楽しいイベントも盛りだくさん!

色めくアートの森へぜひ遊びにいらしてください。

◆芝桜の見ごろ◆ 4月中旬頃～5月上旬頃

■匠の聚アートフェスティバル2017

恒例のアートフェスティバルを今年も開催します。匠の聚に暮らす作り手たちが教える木工クラフト、陶芸体験、とんぼ玉づくりなどの体験型ワークショップの他に、アトリエを訪ねたり、源流塾による匠の聚の森で楽しむワークショップなど、大人も子供も楽しめる企画がいっぱい!

と き 平成29年5月3日(水・祝)～5日(金・祝)

じ かん 各日受付午前10時～15時

と ころ 匠の聚

※詳細は専用のチラシをご覧ください。

ふるさと市開催日

【4月】16日・23日・29日・30日

【5月】3日・4日・5日・6日・7日・14日・21日・28日

《地域振興課 TEL 0746-52-0111》

図書館だより

4月23日は…『子ども読書の日』

平成13年に制定された「子ども読書の日」。川上村でも平成18年に「川上村子どもの読書活動推進計画」ができました。村立図書館では4月19日（水）におはなし会を行います。（詳しくはお知らせをご覧ください）

今回は親子で一緒に楽しんでほしい絵本をご紹介します！

『絵巻じたて ひろがるえほん かわ』

かこ 皇子 作



折りたたまれたページを広げると約7メートル！
源流から海まで、裏と表の両面であどりながらの旅に出発!!

『おすしのずかん』

大森 裕子 作

「へい、いらっしゃい！ペンギンずしへようこそ。
ごちゅうもんは？ しょうしょうおまを。いまつてきますから…」
きっと回転寿司に行きたくなるから、おなかのすいているときは注意して！



お知らせ

「子ども読書の日 おはなし会」

とき 4月19日（水）

ところ 川上村立図書館

じかん 15時15分～16時

おはなしボランティア 雫さんと図書館員とでおはなし会を開催します。

今回は図書館の絵本のコーナーで行います。皆さんお誘い合わせの上、お越しください。



ゆるがる読書会

とき 4月13日（木）テーマ「記憶」

ところ 川上村立図書館

じかん 19時～

テーマ以外のおすすめ本でもOK。
本を持ち寄っておしゃべりする読書会。
どなたでもお気軽にご参加できます。

【問い合わせ先】川上村立図書館 TEL 52-0144



図書館カレンダー

●色の日が休館日●

	日	月	火	水	木	金	土
◆							1
4	2	3	4	5	6	7	8
月	9	10	11	12	13	14	15
◆	16	17	18	19	20	21	22
◆	23	24	25	26	27	28	29
	30						

	日	月	火	水	木	金	土
◆		1	2	3	4	5	6
5	7	8	9	10	11	12	13
月	14	15	16	17	18	19	20
◆	21	22	23	24	25	26	27
◆	28	29	30	31			



川上村

郷土資料の紹介

『定本 紀ノ川・吉野川 母なる川 —その悠久の歴史と文化—』

川上村が守る「水源地の森」。そこから始まる豊かな吉野川・紀ノ川が、「歴史」「災害」「暮らしと民族」などのテーマに分けられて書かれています。村に関しては「紀ノ川・吉野川の水運」の章に、「吉野林業と筏流し 先覚者・土倉庄三郎」の見出しで解説があり、他に「祭り・行事」や「水環境」の項でも川上村に触れられています。

吉野林業の父と呼ばれた

土倉庄三郎

おぼろ



西吉野村の勢井という所に「わか谷」とよばれる谷があり、大蛇が住んでいたのだそうです。また、この谷に亀石とよばれる石があり、この石の小さな穴には「ひばかり」という小さな蛇が住んでいて、このひばかりにいたずらすると、大蛇が出て大雨を降らすと恐れられていたそうです。のちにこの谷に植林したのが土倉翁。土倉翁がへびを封じ込めた、と「西吉野村史」に記載されています。

森と水の源流館だより

April, 2017 vol.173

TEL 52-0888 FAX 52-0388 (水曜休館)

川上村の名所・旧跡 其の十三

「歴史の証人(下多古)」… 今から400年程前に植林された人工林で、吉野林業の生き証人として大切に守られています。大きいもので高さ55mにも達する吉野杉の森は、「日本遺産」の構成文化財にも指定されています。

※村内の名所・旧跡を簡単に紹介します。エコツアーなどに活用できるように情報を充実させたいと思います。

3月の水源地の森

今年は3月の1日前、2月28日にミソサザイが初鳴きし、森に春を告げました。3月の森は、春芽も一気にほころび、明るく楽しい雰囲気になりました。

森と水の源流館は、4月29日で開館15周年を迎えます。みなさんと一緒に「水源地の村づくり」を進めていきたいと思えます。お気軽に立ち寄って、お声がけください。

森と水の源流館スタッフ紹介



尾上 忠大
(事務局長)

早いもので15年目。「川上村の何が一番好きですか？」と聞かれると、いつも迷わず『川上宣言』と答えます。これほどの宝は他所にはないです。まだまだ嘴みごたえある内容ですので、しっかり取り組んでいきます。



木村 全邦
(企画調査班班長)

イベントや生き物しらべなどを担当しています。専門はコケ植物の分類です。皆さんと川上村の自然を守り活かしていきたいと思えます。身の回りの自然のことが気になったら、声を掛けてください。



奥野 和徳
(総務経理班班長)

事務を担当しています。村内に出ていることもありですが、普段は森と水の源流館内の事務所にいることが多いので、近くに來られた時はぜひお立ち寄りください。



成瀬 匡章
(総務経理班主任)

専門は歴史一般です。川上村内にとどまらず、吉野川・紀の川の水が流れる地域で、まだ人が知らない歴史がないか、探し求めていきたいと思えます。



上西 由恵
(企画調査班主任)

外で仕事をすると何故か雨が多く、祖父の残していった山仕事の道具が宝の持ち腐れ状態です。川上村の森は面積も歴史も奥が深く、まだまだ知らないこともだらけなので教えていただけると嬉しいです。



前羽 朋子
(アルバイト)

諸々、職員さんのお手伝いをしています。受付窓口が一番近い席に座っていますので、お気軽に声をかけてください。



上田 厚子
(アルバイト)

川上村にお世話になり2年が過ぎました。村内の方や小さなお子様にも源流館に来て楽しんでもらえたら…と思いつながら、お手伝いさせていただいています。



みんなで考えよう！川上村の環境

その82 ～犬・猫の飼い主の方はルールを守って飼いましょう～

犬の登録と狂犬病予防注射は、狂犬病予防法により飼い主に義務付けられています！

◎平成29年度飼い犬の狂犬病予防集合注射のご案内

毎年、4月～6月に1回接種し、注射済票を受けることが法令に定められています。

川上村では、4月に公民館などで狂犬病の予防注射を実施します。

登録済みの犬飼い主の方には、案内（ハガキ）を送付します。案内（ハガキ）を無くされた方は、直接会場にお越しく下さい。集合注射会場での犬の登録も可能です。

また、集合注射で接種しない場合は、かかりつけの動物病院で接種してください。

（詳しくは、ケーブルテレビに掲載しておりますのでご覧ください。）

■犬・猫の飼い方マナー

犬や猫を飼うにもルールとマナーがあります。

飼い主は、動物愛護の気持ちで最後まで飼う責任があります。

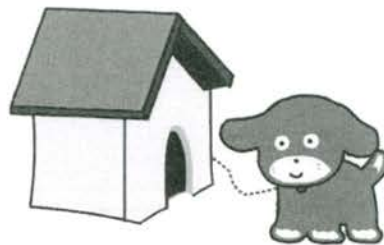
■責任をもって誰からも愛されるペットに

飼い主の方と愛犬・愛猫の関係がうまくいっていて、毎日が楽しい暮らしをしているとしても、どこかで誰かに迷惑をかけているとしたら正しい飼い方とはいえません。

動物が嫌いな人、苦手な人もたくさんいます。そのような人にも理解してもらえるよう、以下のルールとマナーを守り、家族の一員として責任ある飼い方をしましょう！

◆ルールとマナー

- ・散歩中のふんは必ず家に持ち帰りましょう。
- ・犬の放し飼いはしない。
- ・猫は室内飼育をする。
- ・犬や猫は家族の一員として終生飼いましょう。
- ・無理な多頭飼育をしない。



※飼い主の責任です!!

飼い犬が他人に被害を与えた場合、飼主は賠償などの民事責任が問われます。場合によっては、刑事責任を問われ、罰せられることもありますので相当の注意が必要です。

かわかみらいふで4月1日から貸出し開始

かわかみらいふへ村立図書館が専用本棚を設置しました！

東部地区にお住まいの皆さまに、今よりもっと本や雑誌に親しんでいただけるよう、かわかみらいふに図書館専用本棚を置かせていただきました。常時70冊程度を配置し、定期的に入れ替えも行います。



こんな本があります！

話題の小説、お料理や園芸の雑誌、趣味の手芸やおりがみの本。また、健康に関する本や大活字本、お子様向けの絵本も置かせていただきます。毎月第一、第三金曜日に図書館員が訪問し、本を入れ替えます。

新たにスタートするこの図書コーナーの、親しみやすい名前を大募集！

かわかみらいふ〇〇〇図書館

〇〇〇に入るみなさんのアイデアを川上村立図書館までお寄せ下さい。

図書館、かわかみらいふにも応募用紙がございます。(応募締切は4月29日まで)



【問い合わせ先】川上村立図書館 TEL 52-0144



昨年制作した作品です

教育委員会では、昨年より「身近であるもので川上村らしい、豊かさを感じられる生活の道具をつくる教室」を実施してきました。これは人口が減少し地区で集まる機会が少なくなった今、ものづくりを通じて会話しながら楽しんでいただくことが目的です。教室では匠の聚の芸術家の先生が協力をしてくださり、希望する大字の公民館で暮らしに関係する陶芸・彫刻・木工作品を制作します。

山の暮らしを豊かにする
生活の道具づくり教室



(左) 個性が出るミニ盆栽の入れ物
(下) 彫刻は人によって模様や彫の深さが変わります



希望地区
募集中

教室の詳細については、折り込みの生涯学習のチラシをご覧ください。

また、教育委員会の教室終了後も匠の聚では、陶芸体験教室を実施していますので、教室で作りたいものがありませんでしたら、お気軽に匠の聚までご相談ください。多くの方からのお問い合わせをお待ちしております。

【問い合わせ先】

教育委員会事務局 TEL 52・0144

役場職員の仕事異動 (敬称略)

◎異動 (4月1日付)

総務税務課

課長 森内 太 (地域振興課長)
 主事 堀谷 敦 (地域振興課主事)
 主事補 田原 昌幸 (かわかみらいふ事務局)
 再任用 阪口 和久【危機管理監】

地域振興課

課長 森脇 深 (水源地課長)
 副課長 杉本 晃一 (診療所事務局長)

林業建設課

参与 上田 一仁 (地域振興課)
 課長 新宅 晃 (地域振興課長補佐)
 主任 松本 直 (地域振興課主任)
 主任 深堀 円 (地域振興課主任)
 技師 福西 信和 (地域振興課技師)

教育委員会事務局

教育次長 新井 寿彦 (総務税務課長補佐)
 再任用 上嶋 教孝【校舎一元化事務局次長】

川上診療所

事務長 丸井 祐樹 (教育委員会事務局)

奈良県観光プロモーション課派遣

玉井 孝明 (総務税務課主事)

◎奈良県から派遣の職員異動 < 4月1日付 >

定住促進課

主事 釜谷 雄亮 (企業立地推進課主事)

◎一般社団法人 **かわかみらいふ** 派遣・出向

事務局 杉田 好平 (定住促進課主事)
 保健師 本 めぐみ (住民福祉課保健師)

◎採用 < 4月1日付 >

水源地課 主事補 加藤 満
 やまぶき保育園 保育士 米田 真規

◎退職 < 3月31日付 >

久保 清美 (やまぶき保育園)

教職員の仕事異動 (敬称略)

◎異動 (4月1日付)

川上小学校

【転入】

教頭 山方 直 (新規昇格)
 教諭 山岡 賢太 (新規採用)
 主査 宮本 知明 (纏向小学校)
 講師 喜多 彩乃 (新規採用)
 講師 平谷 彩夏 (新規採用)
 講師 堀川 喬也 (新規採用)

【転出】

教頭 前 浩輔 (川上中学校)
 教諭 符阪 孝治 (天川小学校)

【退職】

主事 喜多 綾菜
 給食調理員 岩崎 順子

川上中学校

【転入】

校長 前 浩輔 (新規昇格)
 教頭 山口 幸夫 (下北山中学校)
 教諭 菊辻 早苗 (黒滝中学校)
 教諭 井上 敦典 (新規採用)
 教諭 佐々岡 和輝 (新規採用)
 講師 平井 美京 (新規採用)

【新採用教員拠点校指導員】 県教委より派遣

中東 郁雄 (前吉野中学校長)

※下北山中学校と兼務

【転出】

教頭 山崎 正悟 (下市小学校)
 教諭 岡田 崇 (白鳳中学校)
 教諭 尾木 典隆 (桜井西中学校)

【退職】

校長 大西 節子
 教諭 上西 英彦
 講師 坂本 秀行
 校務員 藤田 二郎

やまぶきバスの 年間利用者が1万人を突破!

平成28年4月1日から平成29年3月31日までのやまぶきバスの乗車人数が1万人を超えました。高齢化が進み、人口が減少している中でこれだけの人数の方がご利用くださりまことにありがとうございます。

今回、1万人を突破したこと記念し、ご乗車いただいた皆さまに感謝の意を込めてキャンペーンを実施します。つきましては、現在ご利用いただいているメンバーズカードのスタンプが2枚分溜まった際に景品を差し上げますので、メンバーズカードに必ず氏名をご記入ください。

高齢化が進む中、自身で運転することが難しくなる方が増えてくるのが予想されます。やまぶきバスは他市町村のコミュニティバスやゆうゆうバス、ニコニコ号と連携しながら皆さまの移動手段として多くの方がご利用しやすい運行を心掛けて参りますので、ご利用のほどよろしくお願いたします。

【問い合わせ先】

総務税務課 TEL 52・0111

診療所からのお知らせ

【整形外科診察日】

と き 4月19日(水)
受付時間 8時30分～11時30分

【巡回診療日】

と き 4月25日(火)
受付時間 14時00分～15時30分
と ころ ふれあいセンター(北和田)



健康づくり活動を応援します!

地域での健康づくり・介護予防活動を、長く続けられるように今後も応援します。

①らくらく元気塾の実施地区を募集!

5月11日から7月13日までの毎週木曜日!
午前と午後で、それぞれ1地区募集します!

人数があまり集まらない…

②運動指導の先生を派遣!

派遣の条件は、自主活動をしていることのみ!
体操はもちろん食事会、卓球、将棋、踊り等ここからだが元気になる活動であれば、何でも構いません。

③健康づくり活動補助金

健康づくりのための活動に対して補助金を支給します! 1地区50万円まで。

詳細は、住民福祉課までお問い合わせください!

【問い合わせ先】住民福祉課 TEL 52-0111

のびっ子広場

と き 4月19日(水) 10時～11時30分
内 容 森口講師によるふれあい遊び
と き 4月25日(火)・5月9日(火)
14時30分～16時
内 容 ニコニコ☺マザールーム
と ころ やまぶき保育園
持 ち 物 タオル・お茶など

【問い合わせ先】住民福祉課 TEL 52-0111
やまぶき保育園 TEL 52-0019

国民年金保険料学生納付特例制度のご案内

20歳以上の方は、学生であっても国民年金に加入し納付しなければなりません。しかし、学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

対象となる方は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年限1年以上である課程)に在学する学生等で、ご本人の前年所得が次の計算式で計算した金額以下であることが条件です。

【所得の目安】118万円

+

【扶養親族等の数×38万円】

学生納付特例の承認期間は4月から翌年3月までとなりますが、承認を受けた次の年度も在学予定である場合、4月始めに再申請の用紙が送られてきますので、引続き学生納付特例制度をご希望の場合は、必要事項を記入の上ご返送ください。

【問い合わせ先】大和高田年金事務所 TEL 0745-22-3531

俳句

川上俳句会

矢野典子選

特選 青空が見えて散らつく春の雪

竹田サタ子(大滝)

〔評〕青空が見えて、ようやく雪が止みかけて来た。雪掻きを繰り返して来た者にとってこの心境がよく分かる。自然現象を時間をかけて体感している。言葉のみの遊び事ではない。

特選 手から手に抱かれて雛の主かな

上田 一郎(伯母谷)

〔評〕生まれて初めての雛祭。愛情一杯に扱われ、祝って貰っている温かい様子を上手く言い止めている。三月の出勤分の中で一番に上手い句である。

特選 雪掻きに追われ追われて日が暮るる

望月 彰美(迫)

〔評〕雪掻きに追はれ追はれて日の暮るる。文語体で表現すれば添書の様になる。今年の雪の多さ、自然現象と闘う人間の姿に共鳴したであろう。

佳作 雪解水葦の根元を洗ひをり

新子谷生子(北和田)

棕櫚の葉の一筋づつに春の雪
春の土小石を拾ひ均しをく

古瀬 和子(大滝)
阪本 蓉子(東川)

入選 国栖翁烏帽子姿に雪が舞ふ

松本 全代(大滝)

玉葱の苗起き上る雨水かな
淡雪や松皮分厚き蔵王堂

辻井 清子(大滝)
住川 準典(武木)

雑談に花を咲かせて日向ぼこ
萱束で困ふ農小屋野梅咲く

前田 景子(大滝)
枅 恭子(東川)

てんいち先生



(川上村人権・同和問題啓発活動推進本部)

訂正とお詫び

広報かわがみ3月号の6ページ左上の写真のキャプションが「チゴロ淵の村有林を視察」となっていますが、正しくは「吉野林業の人工美林を視察」です。
また、22ページの堀谷桜真君の年齢が「3歳」となっていますが、正しくは「4歳」です。
訂正するとともに深くお詫び申し上げます。

広報編集委員会

ついてますね？ 住宅用火災警報器

(全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられています)

このたび消防署では、それぞれのご家庭で住宅用火災警報器が取付けられているか否かの調査を実施させていただきます。

つきましては、消防署が調査地域として抽出した地区の中から、任意に選ばれたご家庭に対して消防署員が訪問し、住宅用火災警報器の設置状況をお伺いしますので、ご協力をお願いします。

訪問の時期は4月下旬から5月下旬頃までを予定しています。

なお、訪問時には身分を証明する公務証を提示させていただきます。



奈良県広域消防組合吉野消防署 TEL 0746 (32) 1011

お誕生日おめでとう！「ますます元気に大きく育ってね」



よこほりけん たろう
横堀 健太郎 (粉尾)
(平成28年4月24日
生まれ・1歳)

よく笑い、よく泣き、たくさん困らせてくれてありがとう。これからもよろしくね。



しもにし さいもん
下西 才門 (入之波)
(平成25年4月29日
生まれ・4歳)

お兄ちゃんになって一気に成長した才門。強くて優しい子に育ってね。

ふじわら そうすけ
藤原 聡丞 (東川)
(平成26年4月9日
生まれ・3歳)

3歳のお誕生日おめでとう。これからも明るく優しくたくましく元気に過ごしてくださいね。



えのきだ けいじ ろう
榎田 慶治郎 (白川渡)
(平成26年4月3日
生まれ・3歳)

とっても野球が好きな慶治郎くん。これからも元気にすくすく育ってね。



HAPPY BIRTHDAY

橙黄色のコスモスに似た大変美しい花をつけます。見た目はきれいですが、在来種を駆逐している例が報告されています。放っておくと川上村に昔から生育している草花がなくなる可能性があります。白川渡の国道沿いに大群落が見られます。国の「特定外来生物」に指定されており、本種の許可のない栽培や運搬などには厳しい罰則（個人で懲役3年以下もしくは罰金30万円以下）があります。

オオキンケイギウ
(大金鶏菊)



かわかみの草花

村の人口

3月31日現在			
人口総数	1,497人	(-2人)	
男	712人	(+1人)	
女	785人	(-3人)	
世帯数	832世帯	(-1世帯)	
3月中の異動			
転入	9人	転出	9人
出生	0人	死亡	2人



明治 兼治 (伯母谷) 3月31日 82歳
松村 悦治 (人知) 3月25日 65歳

おくやみ (敬称略)

2万円 山田 麻美

川上村では「川上村応援寄附金」と称し、寄付を募っています。先の方から寄附金がありました。

川上村応援寄附金